

2018年度
世 界 史
(問 題)

〈H30123416〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～8ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべてHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	☒ 良い	☐ 悪い	☐ 悪い
マークを消す時	☐ 良い	☐ 悪い	☐ 悪い

5. 記述解答用紙記入上の注意
 - (1) 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
 - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
 - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数 字 見 本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (4) 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

	万	千	百	十	一
(例) 3825番⇒		3	8	2	5

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

I 次の文章を読み、問A～Lに答えよ。解答はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークせよ。

古代ヨーロッパ世界での「知の巨人」とも言うべきは、学問のあらゆる領域に不朽の業績を残したアリストテレス（紀元前384-前322）であろう。トラキア地方出身の彼は青年期^Aアテネ（アテナイ）に渡り、プラトンが教鞭をとるアカデメイアに入学し、学頭となる。そして師^Bプラトン、さらにそれに先行する^Cらの自然哲学者などの思想を踏まえつつ、独自の哲学大系を打ち立てたのであった。「アカデメイア」の名は古代ギリシアの英雄の名にちなむものであるが、この学苑の学問的名声は広くヨーロッパに広がり、^D東西ローマの分裂後最終的に閉校になったのは、^Eビザンツ（東ローマ）帝国の^Fユスティニアヌス1世（大帝）の治世529年のことである。しかし、アカデメイアの名は近代語「アカデミー」に継承され、学問研鑽の場を意味した。フランスでは、^Gなどの会員で有名な「アカデミー・フランセーズ」が1635年、^Hルイ13世の宰相リシュリューによって創設され、いままフランス学士院の基幹的部分となっている。

さて、アリストテレスは紀元前342年に^Iマケドニアに招聘され、アレクサンドロス王子（のち大王）の家庭教師となったが、アリストテレスの薫陶を受けた大王は、紀元前330年^J率いるアケメネス朝を滅ぼし、大帝国を作り上げギリシア文化の東方への拡大に寄与した。そしてアリストテレスの学問は、後世に巨大な影響を与え、^Kサーマーン朝に生まれたイブン＝シーナーら^Lイスラーム系学者によって継承・発展された。イブン＝シーナーは医業を中心としつつ、アリストテレス哲学をイスラーム神学に応用し、また「第二のアリストテレス」と言われるほど広汎な領域に業績を残した。

問A 下線部Aに関連し、古代ギリシアの出来事に関して古いものから年代順に3番目のものはどれか。

1. ソロンの改革 2. ペロポネソス戦争 3. ドラコンの立法 4. コリントス（ヘラス）同盟結成

問B 下線部Bに関して、プラトンについての説明で、誤っているものはどれか。

1. 主著に『国家』がある。
2. 主著に『ソクラテスの弁明』がある。
3. 「哲人王」による政治を説いた。
4. 「イデア」論は、後の経験論哲学の先駆となった。

問C ^Cに当てはまらない人物はどれか。

1. ピタゴラス 2. タレス 3. プロタゴラス 4. ヘラクレイトス

問D 下線部Dに関して、東西ローマ分裂後の歴史で、正しいものを一つ選べ。

1. オドアケルは西ローマ皇帝暗殺を図ったが、失敗し刑死した。
2. ゲルマン民族の一つ、ランゴバルド（ロンバルド）人が、北イタリアにランゴバルド王国を立てた。
3. テオドリック大王は、東ローマ帝国を破って西ゴート王国を建国しようとしたが、失敗した。
4. クローヴィスはフランク王国を建国したが、キリスト教への改宗は拒んだ。

問E 下線部Eに関して、ビザンツ（東ローマ）帝国の説明で、正しいものはどれか。

1. 第4回十字軍はローマ教皇によって提唱され、コンスタンティノープルを陥落させた。
2. 5世紀末以来、聖像崇拜論争がおこった。
3. マケドニア朝は、6世紀の帝国初期の王朝である。
4. イコン崇拜への弾圧はビザンツ帝国建国から滅亡まで続き、キリスト教徒の反発を買った。

問F 下線部Fに関して、ユスティニアヌス大帝の業績ではないものはどれか。

1. プロノイア制を始めた。
2. ハギア（セント）＝ソフィア聖堂を再建した。
3. ローマ法の集大成に努めた。
4. 絹織物産業振興を図った。

問G G に当てはまる、アカデミー・フランセーズの会員は誰か。

1. エラスムス
2. ラブレー
3. ラシーヌ
4. モンテーニュ

問H 下線部Hに関して、ルイ13世とリシュリユーについての説明のうち、正しいものはどれか。

1. ルイ13世は、シャルル9世の暗殺にともなってフランス国王に即位した。
2. ルイ13世は、フランスの30年戦争参戦を阻止した。
3. リシュリユーは、ユグノー弾圧を行なった。
4. リシュリユーは、フロンドの乱鎮定に成功した。

問I 下線部Iに関して、マケドニアについての正しい説明はどれか。

1. かつてアテナイの東方にあった植民市であり、通商活動に優れていた。
2. コリントス同盟では、マケドニアは同盟から排除された。
3. カイロネイアの戦いでは、マケドニアはアテネ＝テーベ軍に敗北した。
4. マケドニア王フィリッポス2世のとき、常備軍を整え強大化した。

問J J に当てはまる人物はどれか。

1. ダレイオス1世
2. ダレイオス3世
3. クセルクセス1世
4. クセルクセス2世

問K 下線部Kに関して、サーマーン朝に関係する事柄の説明で、誤っているものはどれか。

1. 首都はブハラである。
2. トルコ人奴隷を売買する市場を置いていた。
3. ソグディアナ地方で自立したイラン系ムスリム政権である。
4. カラハン朝を滅ぼして、その領土を奪い取った。

問L 下線部Lに関して、イスラーム系学者の中で、『政治学』以外のアリストテレスの全著作に注釈を施した、コルドバ生まれの哲学者、法学者、医学者はどれか。

1. イブン＝ルシュド（ラテン語名、アヴェロエス）
2. ウマル＝ハイヤーム
3. フワーリズミー
4. フィルドゥシー

Ⅱ 次の文章を読み、問A～Lに答えよ。解答はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークせよ。

秦の始皇帝の拡張政策により、現在の広東省をはじめとした中国の嶺南地域は、歴史上初めて中原王朝の直接統治^A下に入った。秦の滅亡後、この地域には南越^Bが建国されたが、紀元前111年に前漢の武帝^Cにより征服され、南海九郡が置かれることとなる。その後、現在の広州を中心として、この地域は中国歴代王朝のいわゆる「南海交易」の拠点となっていく。1世紀以降、東南アジアでは交易を重要な経済基盤とする諸国家が形成され^D、インドとの密接な交易活動を背景として、「インド化」^Eしてゆく。インド・東南アジア・中国間の交易の活発化^Fは、中国王朝にその管理と税収確保の必要性を抱かせ、唐代には海上交易全般を管理するGが広州に置かれた。11世紀には、長らく中国王朝の支配下にあった現在のベトナム北部に独立した王朝^Hが成立し、南海交易の重要な中継地点としての地位を得る。その後13世紀、モンゴルの建国した元は積極的に東南アジアに軍事遠征^Iを行い、南海交易の主導権を得ようとした。またこの時代には、ムスリム商人のネットワークが東南アジアを覆うようになり^J、それが次の王朝である明朝初期^Kの七回にわたる南海への艦隊の派遣の下地となった。しかしその後、明は民間の海外渡航・海上交易を禁止する海禁政策をとり、続く清も大型船建造や武器輸出の禁止を行った。だが、アヘン戦争の講和条約である南京条約^L、それに続く欧米列強の進出は状況を一変させ、「南海交易」は最終的に欧米諸国が主導する交易システムに組み込まれてゆくことになる。

問A 下線部Aについて、この結果起きたことはどれか。

1. 秦はその直轄地には郡県制を、遠隔地には封建制を行い、嶺南地域には9人の諸侯が封じられた。
2. 折衝府が置かれ、管轄地域内の農民を徴兵し、訓練した。
3. 現在の広西省・広東省からベトナム北部にかけて、象・桂林・南海の3郡が置かれた。
4. 都護府が置かれ、屯田の経営、交易路の確保を任務とした。

問B 下線部Bについて、正しい説明はどれか。

1. 「大秦王安敦」の使者がこの国に到着した。
2. 秦の滅亡に乗じて、徴姉妹の反乱により建国された。
3. 呉楚七国の乱に参加して、前漢に対して軍事行動を行った。
4. 秦の滅亡に乗じて、趙陀により建国された。

問C 下線部Cについて、前漢の武帝が攻撃または使節の派遣を行っていない国家はどれか。

1. 高句麗 2. 匈奴 3. 大宛 4. 衛氏朝鮮

問D 下線部Dについて、その建国の年代が古いものから順に2番目の国家はどれか。

1. カンボジア（真臘） 2. チャンパー 3. 扶南 4. クディリ朝

問E 下線部Eの特徴として、誤ったものはどれか。

1. サンスクリット語・インド神話と、それらの影響下にある王権概念を受容した。
2. ヒンドゥー教や仏教が普及した。
3. インド式建築様式が普及した。
4. パラモン階層が社会の支配者層となった。

問F 下線部Fについて、7世紀にスマトラ島のパレンバンを中心に成立し、インド・中国との交易に積極的に参与した王朝はどれか。

1. シャイレンドラ朝 2. シュリーヴィジャヤ王国 3. マタラム朝 4. スコータイ朝

問G G にはいる語句はどれか。

1. 転運司 2. 御史台 3. 海関 4. 市舶司

問H 下線部Hについて、この王朝はつぎのうちどれか。

1. 李朝 2. 黎朝 3. 阮朝 4. 広南王国

問I 下線部Iにつき、元の軍事遠征が成功し、征服された王朝はどれか。

1. タウンゲー朝 2. 陳朝 3. シンガサリ朝 4. パガン朝

問J 下線部Jにつき、この結果として生じた変化として誤ったものはどれか。

1. マラッカ王は15世紀にイスラームに改宗し、マラッカ王国は国際交易都市として大いに発展した。
2. この時期以降、東南アジアの島嶼部を中心に、イスラーム神秘主義教団の活動が活発化した。
3. 15世紀末のスマトラにイスラーム政権のアチェ王国が成立した。
4. マジャパヒト王国がジャワを中心に繁栄し、スマトラにまで版図を拡大した。

問K 下線部Kについて、その結果は何か。

1. 東南アジアからアフリカ東岸に至るまでの諸国家が明に朝貢使節を送り、その関係は明の滅亡まで維持された。
2. ヨーロッパの最新の銃器が、遠征の途中に獲得され、明にもたらされた。
3. 遠征に刺激された中国では、白磁や青磁など陶磁器の生産が史上はじめて盛んになり、海外に輸出された。
4. マラッカ王国が遠征の重要な中継拠点となり、その急成長をもたらした。

問L 下線部Lにつき、南京条約で規定されたのはどれか。

1. 片務的最恵国待遇 2. 清の関税自主権の喪失 3. 外国人の中国内地旅行の自由 4. 公行の廃止

Ⅲ 次の文章を読み、問A～Lに答えよ。解答はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークせよ。

アメリカ大陸の北部に位置するアメリカ合衆国（以下、単に「アメリカ」とする）は、^A中南米諸国と比較して開拓者精神や進取の精神を育む空気が色濃かった。これは、^Bアメリカにおける初期の移民が植民地で搾取・収奪を行うことを目的としてやってきたというよりは、総じて新たな世界での生活を求めてやってきたことに起因しているのかもしれない。そうしたアメリカでは、農業や製造業の生産性を著しく増大させた発明や革新的な技術が生まれた。18世紀後半に発明された^C綿繰り機、19世紀に入って以降に発明された^D刈取り機や、発明自体はヨーロッパでなされたものの、実用化のレベルを大きく引き上げたミシンがその代表例である。

19世紀中盤以降、アメリカは、^E南北戦争中から連邦政府が戦費の調達という趣旨を超え、その後の発展のための様々な施策を行っていたこともあり、^F南部再建の時代を経て、いわゆる「^G金メッキ時代（Gilded Age）」と呼ばれる急速な経済発展の時代を謳歌した。この頃には、多くの移民の流入も見られた。^H

20世紀に入ってから、アメリカでは革新的な工業技術、^I生産方式および^J情報技術などが生み出され、それらを生み出す企業の活動を支えるべく、金融市場も大きな発展を遂げた。また、そのような企業部門や金融部門の発展は、世界の多くの人々を惹きつけ、多くの人材の流入を生じさせた。他方、今日のアメリカでは、^K環境問題、移民問題、経済格差問題、^L金融の国際化による一国の金融危機の世界的規模での波及に関する問題など、企業部門や金融部門の発展ゆえの様々な問題が生じており、ときにそのような問題が世界的な規模で起こった際の震源地にもなっている。

問A 下線部Aに関連して、1500年代の同地域に関連する記述として誤っているものはどれか。

1. ピサロがリマを建設した。
2. マゼランがパナマ地峡を横断して太平洋に到達した。
3. スペイン人によってマヤ文明が滅ぼされた。
4. コルテスがテノチティトランを占領し、アステカ王国を滅ぼした。

問B 下線部Bに関連して、北米大陸におけるイギリスにとって最初の植民地であるヴァージニアで、同植民地に大きな利益をもたらした産物はどれか。

1. タバコ
2. 綿
3. 皮製品
4. 茶

問C 下線部Cに関連する説明として誤っているものはどれか。

1. 綿繰り機を発明したホイットニーは、製品の製造工程において互換性部品を用いる製法を積極的に用いることを推し進め、銃の大量生産を行った。
2. 綿繰り機の動力は蒸気機関であったため、黒人奴隷の労働量を低減することに寄与した。
3. 綿繰り機は、綿実からその種を効率的に分離するものであった。
4. 綿繰り機の発明は、綿花の生産高や輸出量を劇的に増大させた。

問D 下線部Dに関連して、刈取り機は世界初の万国博覧会にも出品されたが、その万国博覧会が開かれた都市はどれか。

1. パリ
2. ウィーン
3. ロンドン
4. シカゴ

問E 下線部Eに関連する説明として誤っているものはどれか。

1. 南軍の将軍リーは、リッチモンドの陥落後、北軍のグラントに降伏した。
2. 南部諸州では反連邦主義を掲げ、連邦から離脱してアメリカ連合国を創設した。
3. 北部では、連邦主義が有力に唱えられ、奴隷反対の立場を採る民主党が多くの支持を獲得していた。
4. 南北戦争は、南軍が北軍の要塞を攻撃したことによって始まった。

問F 下線部Fに関連して、南北戦争中に連邦政府によって制定された法律はどれか。

1. ホームステッド法 2. カンザス・ネブラスカ法 3. ワグナー法 4. 全国産業復興法

問G 下線部Gに関連して、南北戦争が終結した1865年から連邦軍が南部から撤退した1877年の間にアメリカに起こった出来事として誤っているものはどれか。

1. 旧南軍兵士らによってクー＝クラックス＝クランが結成され、黒人やその支持者たちに対して恫喝や暴力行為などを行った。
2. アメリカがロシアからアラスカを買収した。
3. ベルがアメリカにおける最初の電話機に関する特許を取得した。
4. ライト兄弟が動力飛行機の初飛行に成功した。

問H 下線部Hに関連して、この時代の末期である1890年代前半に設立され、銀行や鉄道などの大企業、エリート層に対して敵対する考え方をとっていた政党はどれか。

1. 禁酒党 2. 人民党 3. 労働党 4. ホイッグ党

問I 下線部Iに関連して、フォード＝モーターズ社と同社のT型車の生産に用いられたいわゆるフォード生産方式に関連する説明として誤っているものはどれか。

1. フォード＝モーターズを設立したフォードは、エジソン＝イルミネーション社でエンジニアとして働いていた。
2. 製造工程を標準化し、ベルトコンベアを用いた流れ作業を行うことによって生産性を大幅に引き上げた。
3. 製品を標準化し、製造するモデルを絞り込んだ。
4. 大量生産の実現によって原材料価格の高騰を招き、製品価格が上昇した。

問J 下線部Jに関連して、主に1960年代のアメリカで軍事目的のために開発されていた複数のコンピュータネットワークを世界的な規模でつなぐネットワークを指すのはどれか。

1. 集積回路 2. インターネット 3. ファイアウォール 4. オペレーティング＝システム

問K 下線部Kに関連して、1924年移民法による制限や割当の対象国にはならず、現在、アメリカにおける不法移民の出身国の中で最も大きな割合を占めている国はどれか。

1. メキシコ 2. ドイツ 3. ブラジル 4. スペイン

問L 下線部Lに関連して、2008年に起こった国際金融危機では、多くの金融機関がある金融商品を証券化したものを取得・保有していたことが同危機が起こった大きなきっかけの一つとなった。その金融商品はどれか。

1. 為替手形 2. 温室効果ガス排出権 3. サブプライム＝ローン 4. 国債

Ⅳ 次の文章を読み、空欄 1 ～ 13 は、記述解答用紙の所定欄に適切な語句を記入せよ。下線部14については、そこで言及されている当該政治勢力の特徴および同時代におけるインドの政治・経済情勢を100字以内で説明しなさい。なお、句読点・数字も1字と数える。

16世紀にはインド亜大陸を舞台にさまざまな文化・宗教の交流がみられた。イスラームとヒンドゥーを融合した 1 教はのちの時代にはイギリスの支配に抵抗するひとつの拠り所となる。 2 を公用語としたムガル帝国ではタージ=マハルに代表されるすぐれたイスラーム建築が生まれた。

19世紀初めにはイギリスのインド支配が強まり、インド南部では 3 と呼ばれる地税徴収の仕組みも整えられた。のちにイギリスへの抵抗を示したガンディーは、弁護士として活動していた 4 で人種差別を経験し、独立運動に進むことになった。20世紀には独立運動が高揚していった。1905年にイギリスのインド総督が独立運動の分断を企図してヒンドゥー教徒とイスラーム教徒の地域を分割するように命じた 5 はのちに撤回に追い込まれた。1906年にはインド国民会議の大会で国産品愛用を意味する 6 や民族教育の推進などが決議され、同年に結成された政治団体 7 ものちに国民会議とともに独立運動を担うことになった。1930年にはガンディーがイギリスによる物品の専売に抵抗した「 8 」を行った。ガンディーの運動は非暴力・不服従を意味する 9 という造語で表現され、世界に大きな影響を与えた。他方、ガンディーもヒンドゥー教徒とイスラーム教徒の融和を求めたが、インド独立の際には両宗教の対立を収められず、 10 を首班とするパキスタンとの分離独立を余儀なくされた。

第二次大戦後のインドは、1954年の 11 でパキスタンも交えてアジア・アフリカ会議の開催を呼びかけ、ガンディーを継いだネルーが中国の周恩来首相と 12 を提唱したが、1959年からは中国との紛争を経て核武装に突き進み、数次にわたるパキスタンとの国境紛争も経験した。中国・パキスタンとの紛争はシンハラ人政府とタミル人抵抗勢力との 13 内戦にも飛び火した。1990年代以降のインドでは、国民会議派に対抗する政治勢力がたびたび政権を獲得している。

〔以 下 余 白〕

